

## パブリックコメント等意見反映状況

(1) パブリックコメント  
なし

(2) 第4回推進委員会・市議会常任委員会の意見

【区分】 推進：男女共同参画推進委員会（第4回）  
議会：市議会常任委員会

ページ	意見		反映状況	内容	担当課
10	表中(R2) (R5) (H31) (H22)等の記載は不要	意見 (推進)	反映	10ページ表中()書きをすべて削除	環境生活課
11	基本目標Ⅲ 安心して暮らせる環境づくりの重点目標の順番について、内容が比較的「性」に関係する1番、2番、4番の順にし、最後に3番を持ってきてはどうか。  (1) 配偶者等からの暴力の根絶 (2) あらゆる暴力の根絶 (3) 困難を抱えた人が安心して暮らせる環境の整備 (4) 生涯を通じた健康支援 ↓ (1) 配偶者等からの暴力の根絶 (2) あらゆる暴力の根絶 (3) 生涯を通じた健康支援 (4) 困難を抱えた人が安心して暮らせる環境の整備	意見 (議会)	反映しない	委員会で審議を行っており、変更する明確な理由がないため	環境生活課
15	“キャリアフェス”により、生徒の職業に対するイメージが変わってきている。このようなことを今後進めていくと同時に地域でも広めてもらえれば、性別に関係なく様々な職業に就けると思う。	施策 (推進)	反映済	No. 2に記載	こども教育課
15	理系を選択する女性はほとんどは「介護職」に進む人が多い。そうするとその範疇に理工系に進まれる方がほとんどいない。 道路の工事現場等に女性の技術者がいることが見えてくると、(生徒が選ぶ進路の)一つの選択肢として見えてくるというのは大きいと思う。そのような姿が次の世代の選択肢を増えしていくのではないかと思う。それがなければ女性の選択肢は大分絞られてしまう。	施策 (推進)	反映済	No. 2に記載 女性の職域が広がっていることを広報するなどし、進路選択に必要な情報提供に努める。	商工観光課
15	アンケートについて、「日常生活の分担、仕事の分担をどのようにしていますか」等、割と身近なところから聞くアンケートを毎年、あるいは2年に1回でもいいので継続的に実施することにより、意識づけしていくのも良いのではないか。	意見 (議会)	反映済	No. 3に記載 アンケートは実施済み(R2)  意識づけを踏まえ、効果的な方法等さまざまな方法により、あらゆる機会を通じて意識啓発を進めていく。	環境生活課

15	市職員に、皆さんのお宅ではどうされていますかというように継続的にアンケートをとるのもよいのではないか。	意見 (議会)	反映済	No.3に記載 アンケートは実施済み(R2) ※市職員も市民として含まれる。  「糸魚川市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき、組織全体で継続的に女性職員の活躍を推進する取組みを行っていく。	総務課
	また、例えば体協・スポーツ団体などの活動は家族の協力が必要である。その啓発を、その団体ごとに取り組んでもらうよう働きかけてはどうか。		反映済	No.1に記載	環境生活課 関係各課
15	法律に基づく計画策定ではあるが、「女性」という言葉が多いように感じる。男性も悩まれている方がいるのではないかとこのところを見ると、「男性は強く、女性をカバーするもの」というふうに見えてしまい、男女共同というよりは、女性目線の話に近いのではと感じてしまった。もっと「男女一緒に」というところが見えると良い。	意見 (議会)	反映済	No.3に記載	環境生活課
20	男性も保育参観などに行く気持ちはあるが、参加すると周りが女性ばかりで気まずい状況があるようです。	施策 (推進)	反映済	No.11に記載	こども課 こども教育課
23	今後男性だけでなく、女性側にも主体性が求められていく。女性は何を目指すために平等に能力を認めて欲しいのか、その認めさせる中身がないと虚しい。	施策 (推進)	反映済	重点目標Ⅱ-(1)雇用等における男女平等の推進に記載  ・雇用・就労における均等な機会と待遇の確保 ・価値観やライフスタイルに応じた働き方を選択できる環境整備 ・女性管理職のキャリア形成と女性のエンパワーメントの推進	環境生活課
23	(笠原建設)最初は女性を入れて、女性が働ける職場環境をつくる、次は結婚・出産をして、その方が育児休業を終えて復帰したときにどういうことを進めるのか、という第2段階に入り、試行錯誤を重ねながら進めている。	施策 (推進)	反映済		商工観光課
23	M字カーブのグラフを見ると「核家族」において、少しだがM字が残っている。今後一層の対策が必要と思われる。	施策 (推進)	反映済	重点目標Ⅱ-(1)雇用等における男女平等の推進 ＜現状と課題＞に記載	商工観光課

23	従来男の人ばかりだった仕事に女性も参入してきて、単に仕事と子育ての両立というわけではなく、やりがいや生きがいをもって、プロとして責任を持って仕事に取り組む、そういった時期を乗り越えながら女性は成長してくのだと思う。制度もそうだが、会社ができる限りバックアップをし、自分の適正にあった仕事をとことんやっていける環境を整えていくことが「男女共同参画」である。	施策 (推進)	反映済	重点目標Ⅱ-(1)雇用等における男女平等の推進 ＜現状と課題＞に記載  新たに一般事業主行動計画の策定義務対象となる中小企業に対して、適切な情報提供や、職場環境の改善に向けた働きかけを行う。	商工観光課
23	会社の方もきちっと対応をして、今まで男性がやっていた仕事を女性もできるようにする等、先進的な例を作りそれを成功させていき、女性が「ここで働いていて良かった」と思えるような人が進んでいくと、そのあとにまた道が開けていくと思う。そのため最初の対応を手厚くしていたら、次の（世代の）道が平らかになっていくと思う。	施策 (推進)	反映済	重点目標Ⅱ-(1)雇用等における男女平等の推進 ＜現状と課題＞に記載  取組が進んでいない企業に向けては、働き方を改革するためのノウハウや各種支援制度及び先進事例などを発信し、企業の実態に応じた取組を促す。	商工観光課
27	都会等で翻訳の仕事をしている方や、場所を問わないで仕事ができる方にも、糸魚川のITインフラが今後整備されていけば良いと思う。	施策 (推進)	検討	P29 No.20に記載 コロナ禍におけるテレワークの推進に関連し、ITインフラ整備に努める。	商工観光課
31	女性の家事労働は無償で、賃金換算するとすごい金額になるということを、家事をしていない人は気づいていない。 日本は男女の家事分担・育児分担に対する意識がすごく低い。 家事の大変さや時間がとられていること、賃金換算するとすごい金額になることを周知する取り組みも必要ではないか。	意見 (議会)	反映済	◇6歳未満の子どもをもつ夫婦の家事・育児・介護時間の格差(分)に記載 計画策定後、市広報紙に特集を掲載予定。その他、多くの方から関心を持ち、見てもらえるような周知方法を展開していく。	環境生活課 こども課 福祉事務所
33	女性が男性に押し付けるわけではなく、協力しながら子育てしていくところを重きにして、文書だけ「女性が働くのでその分家事ができなくなります、男性は協力してください」というよりも、もう少し話し合いながら男女が働ける社会を築き上げていければ良いと思う。	施策 (推進)	反映済	(1)子育てへの男性の参画の促進、介護休業、休暇の取得促進に記載	商工観光課 環境生活課
33	男性が多い職場で、予め「(こどもの行事には)男性も行くように」声を出してもらえることが、女性の生きやすさに繋がってくると思う。	施策 (推進)	反映済	No.24、25に記載	環境生活課 こども課

33	学校・幼稚園が日程表などを早めに出してもらい、それを（夫婦間で）割り振って、早めに会社に言うべく、会社ぐるみで有給を取得するのも早め早めに動ければ良いと思う。	施策 (推進)	反映済	No.24、25に記載	こども課 こども教育課
33	会社の方も、地域の行事や保護者会にお父さんが参加できるような気風ができれば良いと思う。	施策 (推進)	反映済	No.24、25に記載	商工観光課
40	啓発が難しい。YouTubeやSNSの広告（動画）やCMに啓発広告を打ち出せないか。また、入学、入園、健診、保護者会などの場でDVの説明や相談窓口の紹介をしてはどうか。	施策 (推進)	検討	YouTubeやSNSの広告や啓発CMは、一市町村では難しい。国が中心となって啓発活動を行っていく必要がある。具体的な啓発方法について検討していく。	環境生活課
			反映しない	PTA総会や学校だより等で必要な情報はその都度提供しているため。	こども課 こども教育課
41	目の前でお父さんがお母さんに暴力を振るっているのを当たり前に見ていた3世代前ぐらいの子たちは、そういう傾向になりがち。そういう子どもたちのケアまで踏み込んでいけるか。	意見 (議会)	反映済	No.35、37に記載 すべてではないが、そのような例もあり、実際に親への対応も含めて行っている。	こども課
51	市長を議長として、部課長を構成員とする「糸魚川市男女共同参画推進会議」の設置はどうなっているか。	意見 (推進)	検討	(第2次プランから継続して掲載しているが)設置できていない。今後どのように進めていくのが良いか検討する。	環境生活課
51	目標指標は今のままで良いが、実施した事業の実績をしっかりと記録しておいてもらいたい。	意見 (推進)	反映済	「4 計画の進行管理及び見直し」に記載 今後実施する男女共同参画事業の他、男女共同参画の視点を持った各課の事業の実績を残す。	環境生活課
-	小学校までは数学が好きな子が多くても、中高で「文系」「理系」にガラッと分かれてしまうことが残念に思う。数学が苦手でも理科が好きなら選べる進路・仕事がある等の情報提供があるととっと生徒たちの目が開けるのかなと思う。	施策 (推進)	反映しない	キャリア教育や進路指導等で必要な情報は提供されているため。	こども教育課
-	キャリアフェスや出前講座のように市内の企業の技術者・職員が発表して、市民の方も見に来てもらえるような事業があれば理解も進むと思う。	施策 (推進)	反映済	学校で実施している教育活動では、必要な活動について保護者や地域の方から参観していただく機会を設けていたが、現在は感染症拡大防止の観点から子どもだけの活動としている。	こども教育課

-	スーパーや病院の窓に相談窓口の電話番号などを貼っておけば啓発になると思う。また広報無線でも毎月1回放送できれば12種類は放送できるのではないかと。	施策 (推進)	反映済	スーパーには相談窓口カードを設置済み。 11/12～25「女性に対する暴力をなくす運動」について広報無線で放送	環境生活課
-	新潟県女性財団の地域セミナーを利用した「男女共同参画講座」について、すごく良い内容だが参加者が少ない。暴力の実態の有無に限らず若い世代に聞いて欲しい。ダイジェスト版でも良いので広く知らせたい。	意見 (議会)		資料をそのまま使用することはできないため、セミナーの内容を踏まえた周知や、市民が参加しやすいセミナーの企画を検討したい。	環境生活課 こども課 福祉事務所

(3) その他変更点

ページ	修正前	修正後
6	(記載なし)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>出典元を追加</b> 国勢調査の確定値が公表されておりますが、掲載されている内容は第3次糸魚川市総合計画から引用しているため、出典元を記載しました。</li> </ul>
16 52	(市役所) 「課長相当職以上の職にある職員に占める女性の割合 (%)」 目標 (R8) 数値 10.0 (R02)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標 (R8) 数値 <b>10.0</b> 「糸魚川市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」策定に伴い数値確定</li> </ul>
42	令和2年の国の調査では、性犯罪の被害者は20歳代が約5割を占め、加害者は大多数が被害者の顔見知りです。また、18歳未満の性被害の割合は、49.4%で、加害者の12.2%が監護者となっています。	令和2 <u>(2020)</u> 年の国の調査では、 <b>性被害にあった時期について</b> 、20歳代が約5割を占め、加害者は大多数が被害者の顔見知りです。また、18歳未満の性被害の割合は、 <b>34.5%</b> で、加害者の12.2%が監護者となっています。